

第3号様式（第6条関係）

令和7年6月6日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長 殿

団体名 みるくらぼ

代表者職・氏名 代表 鈴木あい

所在地



事業名	学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちの居場所づくり	
SDGs の 該当ゴール	SDGs 4：質の高い教育をみんなに SDGs 17：パートナーシップで目標を達成しよう	
確定前交付の希望	☒ 希望する	☐ 希望しない
連絡担当者	氏名	
	住所	
	電話	
	Fax	
	E-mail	
ホームページ	https://milklab.jimdofree.com	
設立年月日	2023 年 4 月 5 日 設立	
会員数	3 人	
年会費	なし	
団体の目的	団体の開催するイベントやワークショップの活動が、学校以外の居場所の選択肢の1つとなり、学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、将来への希望や生きるエネルギーを得ることを目的とする 学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、自発的にいきたいと思える居場所になることを目標とする	

主な活動実績

【令和6年5月～現在】

対象の子ども向けに、対戦型ゲームのイベントを開催。各回5名～7名の対象小中学生が参加。子どもたちが自発的に楽しむ様子が見られました。令和6年11月からは毎月第1月曜日にあいパルの多目的室での固定開催にしたことで、対象の子どもたちが参加しやすくなりました。

【令和6年10月12日】

お料理教室開催



【令和6年12月2日】

マジック教室開催



【令和6年12月21日】

冬休みほっと広場開催



【令和7年2月9日】

お菓子教室開催



詳細は添付の令和6年度の事業報告書を参照してください

これまでの補助金等の援助状況

令和6年度戸田市共創のまちづくり補助金（SDGs 応援事業補助）
事業名「学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちの居場所づくり」

団体PRなど

当事者（学校へ通っていない子ども）の親が団体の代表を務めています。子どもと接する日々を通して、家以外でも気兼ねなく過ごすことが出来る場所があったらいいな、と思ってきました。家でも学校でもない、コミュニケーションの場所としての居場所づくりをしています。

実際に参加してくれた子どもたちの様子を見ながら、柔軟に対応できるところが団体の強みであると思います。

今まで、戸田市にありそうでなかった、学校外の出会いの場、学びの場を作っていきます。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDG s の該当ゴール：

SDG s 4：質の高い教育をみんなに

学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、非認知能力の形成の機会を持てるような居場所づくりをする

SDG s 17：パートナーシップで目標を達成しよう

学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもたちが、多様な学びの選択肢を得られるようにする

2 事業の具体的内容

学校に通っていない（または学校が苦手な）子どもたちのための居場所づくりのために、彼らが興味を持てる内容のイベントを開催する。

1. イベント内容

(1) 料理教室

講師：

フライパンひとつで出来る手軽な料理教室を開催する。フライパンひとつで、包丁も使わずに出来る発酵生地のピザ、レンチンで出来るチョコまん、マグカップスープ作りを学ぶ。

自分の食べるものを自分で作れるようになることを目指し、子どもたちの生きる力を養うことを目的とする。また、旬の食材や、食材の栄養価などが自然と学べる内容を提供することで、食への興味や関心を促すことを目的とする。

定員：10名 参加費：1人につき1000円

日時：6月22日（日）10:00～13:00

(2) パステルアートのワークショップ

講師：

夏休みに、パステルアートのワークショップや、ゲーム大会をしたり、宿題や勉強をしたり、ほっと出来る場所として開催する。（補助金対象はパステルアートのみ）安心して行きたいと思える場所があることで、子どもの生きる活力になり、と同時に、保護者の方がほっとひと息つけることを目的とする。

時間を前半と後半の2部に分けて、前半はパステルアートのワークショップ、後半はゲーム大会として、それぞれに参加者を募集する。

同時にオープン DAY と称した無料見学会も開催。活動の周知を図る。

定員：パステルアートのワークショップ6名

参加費：パステルアートのワークショップ1000円

日時：令和7年7月28日（月）13:30～16:30

(3) 青空料理教室

講師：

デイキャンプ場でアウトドアの料理教室を開催する。自然に囲まれた環境で料理を学ぶことで、親子で心身ともにリフレッシュ出来る時間を持ち、また、旬の食材や、食材の栄養価などが自然と学べる内容を提供することで、食への興味や関心を促すことを目的とする。事業対象とするのは、キャンプ場での料理時間のみです。キャンプ場での遊び時間は対象外です。

定員：6名

参加費：1人につき1000円

日時：9月 11:00～13:00

(4) お菓子教室

講師：

ケーキデコレーションのやり方を学ぶ。自由な感覚でデコレーションすることで芸術的センスを養うことや、持ち帰ったケーキを家族や身近な人に喜んでもらうことで、自分に自信が持てるようになることを目的とする。

定員：8名

参加費：1人につき1000円

日時：1月

2. 対象者

小中高生とその家族を対象とするが、子どもだけの参加も受け入れる。

3. 開催場所（予定）

- (1) 上戸田地域交流センターあいパル キッチン
- (2) 上戸田地域交流センターあいパル 多目的室3
- (3) 場所未定（市外）
- (4) 上戸田地域交流センターあいパル キッチン

4. 周知方法

- ・団体のホームページ、SNSで周知を図る。
- ・市内で引きこもりや不登校に悩む当事者やその家族が集う場所として活動している団体（戸田市社会福祉協議会にて開催している、とまり木サロン）との連携を図ることを視野に、チラシの配架を依頼する。
- ・その他、広報戸田市、市内公共施設へのチラシの配架及び掲示、戸田市公式 SNS への掲載、戸田市ボランティア・市民活動支援センターホームページへの掲載、民間店舗へのチラシの掲示などを行い、周知を図る。

5. 実施体制

みるくらぼ会員3名

協力者（保育士）1名

・イベントの参加申し込み時に、対象の子どもの現在の状況や、子どもの特性により配慮してほしいことなどを保護者からヒアリングし、子どもにとってストレスのない環境でイベントに参加出来るように考慮して、イベントを実施する。

・周知のためのチラシには、必ず「学校へ通っていない（または学校が苦手な）子どもが対象」あることを明記し、必要な子どもや家庭に情報が届くように努め、イベントを実施する。

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4月1日～6月 21日	料理教室打ち合わせ 令和7年3月22日に対面で打ち合わせ後、この期間にLINEで随時打ち合わせ
6月22日	料理教室
4月11日～7月 27日	パステルアートのワークショップ打ち合わせ この期間にLINEで随時打ち合わせ
7月28日	パステルアートのワークショップ（オープンDAY同時開催）
7月	青空料理教室打ち合わせ
9月	青空料理教室
11月	お菓子教室打ち合わせ
1月	お菓子教室
2月	みるくらぼ会員と協力者の反省会

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

- ・イベントは、各回 8 名前後の少人数で開催。子どもたちが安心して参加出来る様に配慮し、学校以外の居場所の選択肢の 1 つとなることを目指す。

また、イベントに参加した子どもたちが、将来への希望や生きるエネルギーを得られるようにする。

- ・対象は小中高生。さまざまな年代の子たちが交流することで、コミュニケーションの楽しさを伝え、感じてもらう。

- ・1～2 ヶ月に 1 回程度の開催で、子どもたちに無理なく、かつ日々を送るなかでイベントを楽しみにしてもらえよう配慮する。

- ・市内でひきこもりや不登校で悩む当時者やその家族が集う場所として活動している団体との連携を図り、同じ思いを感じている方たちを繋ぐ機会を提供する。

- ・イベントやワークショップの開催後、参加者にアンケートを実施し、今後のイベントやワークショップ内容の精査のために活用する。

- ・昨年度のアンケートの実施では以下のような回答を得た。

料理教室：とても楽しかったし、またやりたいと話していました。家でも早速同じメニューを作ってくれました。料理すると生き生きしていて楽しそうです。自分で作った料理はいつも以上に美味しい美味しいと言ってもらっていました。一番ロケーションがいいところを選んで食べたそうでご満悦でした。（親御さんは参加せず子どものみでの参加）

お菓子教室：（子どもを）丁寧に見守ってくれてとても助かりました。本人も美味しくできたので、とても喜んでいました。本格的な味だったので、持ち帰ってからも盛り上がりました！（親御さんは仕事で参加せず子どものみでの参加）

- ・アンケートの結果や、実際に開催した経験を踏まえて、団体として以下のように考える。

当団体のイベントに参加することで、子どもたちの笑顔が増え、子どもたちの笑顔が増えることで、保護者の笑顔も増えると感じた。

また、今年度意識しているところは、安心感のある場を作ることである。教室では、毎回同じ先生が教えてくれるという点も、子どもや保護者にとって安心につながると思う。子ども自身が、「またあの教室に行ってみよう」または、「前回は行けなかったけど、楽しそうだから今回は参加してみよう」と思えるように心がけていきたい。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他	0	
自己資金		15,420	
会費		0	
利用者負担金		30,000	料理教室：1,000 円×10 名＝10,000 円、パステルワークショップ：1,000 円×6 名＝6,000 円、青空料理教室：1,000 円×6 名＝6,000 円、お菓子教室：1,000 円×8 名＝8,000 円
協賛金・寄附		0	
その他		0	
合 計		95,420	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補助 対象 経費	謝礼金	52,100	協力者への謝礼金 19,100 円 (料理教室 4,400 円、パステルアート 3,300 円、青空料理教室 7,000 円、お菓子教室 4,400 円) 講師への謝礼金 33,000 円 (料理教室 10,000 円、パステルアート 6,000 円、青空料理教室 7,000 円、お菓子教室 10,000 円)	
	消耗品費	3,850	料理教室のフライパン 550 円×3 名=1,650 円、フライパンのふた 220 円×10 名=2,200 円	
	原材料費	18,000	料理教室 6,000 円：ピザ、チョコまん、スープの材料 青空料理教室 5,000 円：カレーの材料 パステルアート 1,000 円：風鈴・紙 お菓子教室 6,000 円：お菓子 (内容は未定) の材料	
	印刷製本費	5,000	チラシ・書類印刷代 (戸田市ボランティア・市民活動支援センターTOMATO の印刷機を利用/パソコンからのプリントアウト/カラー 1 枚 50 円×100 枚)	
	使用料	16,470	会場使用料 (料理教室：あいパルキッチン 1,800 円×4 時間=7,200 円/パステルワークショップ：あいパル多目的室③690 円×3 時間=2,070 円/お菓子教室：あいパルキッチン 1,800 円×4 時間=7,200 円)	
小 計		95,420	内 訳	補助金申請額：50,000 自主財源：45,420
補助 対象 外 経費				
小 計		0		
合 計		95,420		

